

コロナ禍を理由に 断固抗議する！ 低額回答！断固抗議する！

社員犠牲の経営判断はもうたくさん！

「1.60カ月分、12月7日支払い」

経営陣は、社員と家族の期待に応える責務がある！

本部は、11月12日、2020年度「年末手当」の回答を貨物会社から受けた。

席上本部は、「2020年度決算における経常黒字を目指す中で、社員に更なる犠牲を転嫁するものであり、企業として社員に対する責任を果たしていないものである」として、①コロナ禍による先行き不透明を理由とする、低額回答ありきの姿勢に終始した全く誠意の見られないものでしかない。②昨年度決算は会社発足以来四番目の好成績を確保しており、社員と家族の厳しい生活実態をまったく顧みないものである。③指定公共機関として危険と隣り合わせの中にあっても、安全・安定輸送に携わる社員の努力を無にしたもので、社員感情を逆撫でするものでしかない。④経営に影響を与える数々の根幹問題を先送りし、社員犠牲の経営を続けている経営陣の責任は重大であり、支払う体力が十分あるにも関わらず、要求に応えない経営陣には失望しかない。と厳重に抗議を行った。

これに対し、会社は、「貴組合の指摘は受け止めるが、会社として最終判断した中身であり、最終回答である」との見解に終始した。

最後に本部は、本日の年末手当の低額回答は、社員と家族の生活実態を全く無視した一方的な姿勢であり到底認められるものではなく「極めて不満である」と重ねて抗議し、取り扱いについては「持ち帰り検討」とした。

コロナ禍の中で奮闘する社員の労苦に報いるべき！

3.0箇月支払える経営体力はある！ 今こそ社員・家族の生活の改善を！



社員の生活は一向に改善されていない！
社員犠牲の姿勢を改め、生活向上を！

「低額回答」への抗議と要請行動
※11月20日(金)まで